

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（1 / 2ページ）

種目(教科等)【社会 地図】

項目	教科書名(新編 新しい社会 地図)	会社名(東書)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基本図、二部構成からなる資料図、グラフや統計など多様な資料を用い、広い視野から世界と日本の国土の地域的特色を考察し、理解するようになっている。</p> <p>○自然・人口・産業等、テーマ別に資料図やグラフなどをまとめ、「注目したい記号」などを示して地理的な見方や考え方の基礎を培うようになっている。</p> <p>○地域ごとに地域の特徴あるテーマを取り上げ、歴史的背景、生活と文化、他地域との関連などを学ばせ、地域的特色や地域の課題をとらえられるようになっている。</p>	
特色	<p>〈基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫〉</p> <p>○世界の各州・日本の各地方には、地域の概観に役立つ、自然・産業・人口などの主題図を「基本資料」の形で設けており、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるようにしている。</p> <p>○巻頭に、地理的分野で日本と関わりが強い世界の国々、自然の資料をまとめ、また、歴史的分野に関連する史跡等を基本図に掲載し、基礎的・基本的知識の習得を図っている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○テーマ資料では、地理的分野の諸地域の学習で、学習テーマに沿って学習する際に活用できる資料を取り上げ、テーマに応じて考察することができるようになっている。</p> <p>○世界の一般図では、国名や主要な都市名、自然名などの基本的な情報を取り上げ、地域の特徴的な事象を「注目したい記号」で示し、地理的特色を考察させるようになっている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○巻頭に「この地図帳の地図記号」「この地図帳の活用方法」を設け、地図帳の構成要素を解説し、生徒が主体的に地図帳を活用して学習を深めるようになっている。</p> <p>○環境問題やエネルギー問題など、今日的課題に関する資料が掲載されており、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むようになっている。</p> <p>〈地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫〉</p> <p>○世界の各州・日本の各地方ごとにテーマ資料を設け、各地域の地理的特色を学習テーマにもとづいて追究するように構成され、地理的な見方ができるようになっている。</p> <p>○「ジャンプ」によってさまざまな資料を関連づけて理解を深めるようにし、地理的な考え方を身につけるようにしている。</p> <p>〈我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫〉</p> <p>○北方領土・竹島・尖閣諸島を、写真を交えて取り上げており、「日本固有の領土」であることを明記している。</p> <p>○環境問題や災害問題を集めたページを設け、地理的認識や今日的課題の考察を深める工夫がなされている。</p>	
資料	<p>○「世界全体の資料」「世界の一般図・資料」「日本の一般図・資料」「日本全体の資料」「世界と日本の統計資料」の順で構成されている。</p> <p>○巻末の「資料さくいん」では、地形や気候などの分類ごとに資料の種類やページを掲載している。</p>	
表記・表現	<p>○基本図で示した地域を位置図で示している。世界の基本図に同縮尺の日本を示し、世界と日本を比較できるようにしている。</p> <p>○基本図は等高段彩で表現し、地名や記号を見やすくし、国名や都道府県名を赤字で示し、黒の縁取りをして見やすくしている。</p>	
総括	<p>○基本の地図資料を構成し、基礎的・基本的な知識と地図の活用技能の習得ができるようになっている。環境問題や国際協力の資料を掲載し、歴史・公民的分野との関連づけを図っている。「注目したい記号」を示し地理的特色を考察し、各地域の特色や課題を把握させ、視点が身につくような工夫をしている。</p>	

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（2 / 2ページ）

種目(教科等)【社会 地図】

項目	教科書名(中学校社会科地図)	会社名(帝国)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○鳥瞰図や自然、産業、生活・文化の三つの視点で構成した資料図など多様な資料を用い、広い視野から日本と世界の地域的特色を考察し理解するようになっている。</p> <p>○テーマ別に資料図やグラフなどをまとめ、「ながめてみよう」では「地図を見る目」を示して地理的な見方や考え方の基礎を培うようにしている。</p> <p>○地域ごとの特徴的な事例を示す資料図を取り上げることで、環境条件や他地域との結びつきから地域的特色や地域の課題をとらえるようになっている。</p>	
特色	<p>特 内 容</p>	<p>〈基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫〉</p> <p>○地図帳の基本的な見方・使い方が分かりやすく解説された「地図帳の使い方」が巻頭に設けられ、技能を身につけられるようになっている。</p> <p>○地図の着眼点を示した「地図を見る目」や地図から読み取る学習活動が設けられ、地図活用の技能が身につけられるようになっている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○言語活動を促す「やってみよう」が設けられ、思考力が高められるようになっている。</p> <p>○自然環境や農業・工業・人口・文化など、特定のテーマを表現した資料図を各地域に設け、地域の様子を多面的に考察できるようにしている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○中国、ヨーロッパ、北アメリカには、生活、産業、著名な建築物などのイラストを配した見開きの鳥瞰図が設けられ、生徒の興味・関心を喚起させる工夫がなされている。</p> <p>○「地域的特色をとらえるポイント」では着目すべきポイントを例示し、「やってみよう」で地図をつかった作業を示し、生徒が主体的に地図帳を使って学習を深めるようにしている。</p> <p>〈地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫〉</p> <p>○地図の着眼点を示した「地図を見る目」や地図から読み取る学習活動が設け、地理的な見方ができるようになっている。</p> <p>○言語活動を促す「やってみよう」が設けられ、思考力が高められるようになっており、地理的な考え方を身につけるようにしている。</p> <p>〈我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫〉</p> <p>○北方領土・竹島・尖閣諸島を、写真を交えて取り上げており、「日本固有の領土」であることを明記している。</p> <p>○環境問題や災害問題を集めたページを設け、地理的認識や今日的課題の考察を深める工夫がなされている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○世界の州、日本の地方はいずれも、地域的特色を具体的に読み取れるよう「一般図」「概観図(ながめてみよう)」「資料図」という順で構成されている。</p> <p>○資料図は、重ね合わせや比較がしやすいよう、おおよそ縮尺が統一され、また、他のページに関連した内容の資料図がある図版には、タイトルに参照ページが付記されている。</p>
	<p>表 記 ・ 表 現</p>	<p>○基本図で示した地域を位置図で示している。世界の基本図に同縮尺の日本を示し、世界と日本を比較できるようにしている。</p> <p>○基本図は等高段彩で表現し、地名や記号を見やすくし、また、国名や都道府県名を赤字で示し、黒の縁取りをして見やすくしている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○「この地図帳の使い方」の「地図の要素」で読図の視点や地理的特色の追究方法を示し、読図の技能の習得が図れるようになっている。歴史的分野に関連する図も掲載されている。「やってみよう」を設けて、自然・都市・交通・文化・産業・歴史・環境などの地域的特色を理解させるようになっている。</p>	